

くらしに希望を。消費税に頼らずに

日本共産党板橋区議会議員団は、4月の選挙で8名から9名へと議席を増やしました。



区民や地域の声を聞き、反映する区政への転換を

第2回定例区議会を終えて 幹事長談話

改選後初となった第2回定例区議会について、幹事長の談話を発表します。

区議団は、新人2人を迎え、9名の議員団となりました。一般質問では、新人の石川すみえ議員と6期目の小林おとみ議員が選挙公約や地域・区民の方々から寄せられた声を基に質問に立ち、区政の課題や区長の政治姿勢について質問しました。この中で、幼児教育・保育の無償化に合わせて国が実施を求めていた『各園で副食費を保護者から徴収する』ことについて、『保護者負担とせず、区の負担で賄う』との区長答弁を引き出しました。

陳情続々!!

今定例会には、消費税増税を前提とした補正予算や区立公園の管理運営について、指定管理者制度の導入を進める条例など、19件、及び陳情33件が提出されました。また、企画総務委員会では、本庁舎周辺公共施設再整備方針(案)、文教児童委員会では公立保育所の再整備方針(素案)など、新たな公共施設整備の方針が報告されました。さらに、大



竹内 愛 幹事長

山まちづくりなど、開発関係の陳情が区民の方々から多く出されています。共通しているのは、区民や地域の声を聞き、反映させる仕組みになっていないことです。公共施設整備でもまちづくりでも、誰のために行うのかを明確にすることで、方向性は変わるはずですが、区民や地域のためというならば、区民参画を進めるべきであり、民間事業者の利益を前提とした方針は、撤回するよう求めました。

区民のための区政へ

今定例会では、改めて、公共施設の廃止・縮小、公務のアウトソーシング拡大、職員定数の削減という区の方針が具体的に示されました。区議団は、引き続き、区政の課題を洗い出し、区民参画を軽視する区政の転換を求め、取り組んでまいります。

日本共産党板橋区議団ニュース

2019年7月号 発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
板橋区板橋 2-66-1 Tel3579-2717 Fax3579-2731



ご意見・ご要望をお寄せください。

板橋 日本共産党

検索

inf@jcp-itabashi.gr.jp

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

いたばし元気帳

日本共産党

第2回定例会一般質問より

格差広げて「これで無償化」?



政府は、消費税10%増税と一体で、幼保無償化をおこなおうとしている。

めることは、出費が重なる子育て世代の暮らしを圧迫することは必ずあり、子育て支援にならない」と指摘しました。

石川すみえ

副食費引き続き 区負担で実現

国は、これまで保育料に含まれていた給食の副食費分を無償化の対象から外し、各園で実費徴収することとしています。

石川すみえ区議は、6月6日の本会議で「財源を消費増税にもと

石川すみえ区議は、「実費負担となれば低所得者世帯が無償化によって逆に負担が増加する。引き続き公費負担をおこなうよう」強く求めました。



大学・専門学校生の高すぎる学費の軽減を



消費増税を前にして、国立、私立ともに大学が学費値上げの動きを強めている

で借りるのを控え、アルバイトで生活費を生み出している実態が明らかになりました。今、苦しい生活実態に消費増税のしかかろうとしています。

小林おとみ

ます。政府は、2020年度から、大学・専門学校などの授業料減免、給付型奨学金の拡充を行いました。しかし、対象は、住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯の学生に限られています。

2月に大学生協連がおこなった学生生活実態調査では、仕送りが減り、奨学金返済に不安があるの

新人2人を迎え 9名の議員団が論戦リード

企画総務委員会



竹内 愛



山田ひでき

現在有効活用していない旧保健所など、区本庁舎周辺の公共施設について再編方針案が示されました。この間、民間事業者への市場調査を行い、民間活力を活用し整備するとしています。一方で、区民の意見を聴取し反映させる仕組みはありません。公共施設は区民の財産です。区民のための施設整備を求め、がんばります。

区民環境委員会



荒川なお



山内えり

区民集会所は、住民に身近な場として親しまれ、2015年度以降、集会所の存続や施設の充実を求める陳情が区議会に、たくさん提出されました。板橋区は、昨年までに区内12ヶ所を廃止し、さらに減らそうとしています。区の廃止計画の中には、改修工事を行って数年しか経過していない施設もあります。

公共施設は区民のための施設であり、区都合だけで廃止することは許されません。みなさんの声が生きる区政の実現のために頑張ります。



区民から存続が求められている清水町集会所

健康福祉委員会



かなざきふみ



吉田豊明

第2回定例会には、禁煙外来治療費や高齢者の補聴器購入費への助成を求める陳情などが出され、議案では、大谷口いこいの家を廃止する条例、所得の少ない人の介護保険料軽減の条例、手話言語条例などが出されました。板橋区が区民の命と健康を守る責任と使命を果たすよう、全力をあげます。

都市建設委員会



いわい桐子

第2回定例会では、13本もの陳情が出され、うち7本が大山駅付近の東上線立体化と駅前広場計画や商店街を分断する道路計画見直しを求めるものです。その他、高島平グランドデザインの説明会開催を求めるもの等です。陳情が寄せられる背景には、区の「住民不在の開発姿勢」があります。住民参加のまちづくり目指してがんばります。

文教児童委員会



小林おとみ



石川すみえ

2019年度、認可保育園を希望しながら入れなかった子どもたちは779名にのぼりました。認可保育園の増設や保育環境の整備がますます求められているにもかかわらず、区立保育園の民営化の方針も出されています。

学校づくりでも新たな統廃合方針も示されました。子どもたちのすこやかな育ちや学びを保障するために、おおいに頑張ります。

高齢者の補聴器購入助成を 求める陳情が継続審査に

「えっ?何?」と相手の話が聞きづらいことありませんか?こうした中程度難聴の高齢者に対する補聴器購入費の助成制度が行われています。年齢制限のない千代田区を含めれば東京では9区が実施しています。新宿区・江東区では補聴器現物の支給、墨田区・大田区・豊島区・江戸川区・千代田区・中央区・葛飾区は助成金の支給です。板橋区議会に高齢者の補聴器購入助成を求める陳情が第2回定例会で出されましたが採択とはならず、継続審査となりました。耳が遠くなると引きこもりになったり、認知症が進行する危険が指摘されています。どうしても必要な助成制度です。

日本共産党の生活・法律相談 気軽にお電話ください

日本共産党板橋区議会議員団 板橋区板橋 2-66-1 Tel. 3579-2717 Fax 3579-2731

いわい桐子事務所

高島平 7-20-17・102
Tel. 690410448
高島平 1-59-1丁目(2丁目除く)、蓮根 3丁目、新河岸、四葉

石川すみえ事務所

小茂根 2-27-11
Tel. 39742405
大谷口、大谷口北町、大谷口上町、小茂根、向原、東山町、東新町、桜川、幸町、大山西町

山田ひでき事務所

前野町 2-27-8
Tel. 35587310
前野町、志村 1-2丁目、常盤台 1丁目、4丁目(常盤台 1丁目68除く)、中台、上板橋

かなざき文子事務所

双葉町 6-12-101
Tel. 396119771
栄町、中板橋、双葉町、宮本町、南常盤台、仲宿、弥生町、水川町、富士見町、大和町、常盤台 1丁目60、68

吉田豊明事務所

成増 1-5-24
Tel. 397515500
赤塚、赤塚新町、成増、三園、大円

小林おとみ事務所

蓮沼町 50-1
Tel. 64549898
蓮沼町、大原町、泉町、清水町、本町、稲荷台、仲宿、小豆沢

竹内愛事務所

高島平事務所 高島平 7-20-17・102
Tel. 59970788
徳丸事務所 徳丸 2-28-2
Tel. 59204130
高島平 2丁目 徳丸

荒川なお事務所

坂下事務所 坂下 1-26-11・101
Tel. 396018530
坂下、東坂下、舟渡、若木、西台、若杉 3丁目、相生町、蓮根 1-2丁目

山内えり事務所

大山東町 59-16
Tel. 396210188
板橋、大山町、大山東町、大山金井町、熊野町、中丸町、南町、加賀